

美祿市発展の功労者を表彰

美祿市功労者表彰は、市の発展のために尽くされ、自治・産業・教育などの分野において他の模範となる成績・業績の優秀な方や社会公共のために多額の寄附をされた方に贈られます。11月6日、第2回目の美祿市功労者表彰式が市役所議事堂で行われ、5名に表彰状及び感謝状が贈られました。受賞された方のご功績を紹介します。



後列左から藤井繁樹氏、三好敏満氏、道下末男氏
前列左から田原禮子氏、村田市長、秋山市議会議長、森田ヤエコ氏

優良勤労者

三好 敏満氏 (伊佐町)

昭和50年8月、薬仙石灰株式会社に入社以来、34年3月の永きにわたり、一意専心、よく社意を体得され、無災害で職務に精励された。

特に、保安責任者としての任務には豊富な経験と強い責任感をもって臨み、人材の育成・指導に努めるなど、その功績は誠に顕著であり、他の職員の模範である。

道下 末男氏 (伊佐町)

昭和54年1月、美祿貨物自動車株式会社に入社以来、30年10月の永きにわたり、自動車整備業務に精励された。

安全面に対する意識が高く、これまで無事故、無災害であり、忠実な仕事をもって、運送事業特有の突発的な車両整備にも柔軟に対処されるなど、その功績は誠に顕著であり、他の職員の模範である。

藤井 繁樹氏 (美東町)

昭和44年3月、株式会社山口クボタに入社以来、40年8

月の永きにわたり、農業用機械器具の販売及び修理業務に精励された。

人望が厚く、円満な人柄をもって人材育成にも積極的に取り組むなど、地域の基幹産業である農業の振興・発展に積極的に尽力され、その功績は誠に顕著であり、他の職員の模範である。

田原 禮子氏 (秋芳町)

昭和52年5月、特別養護老人ホーム青景園入職以来、32年6月の永きにわたり、利用者の介護や相談に献身的に勤め、老人福祉サービス事業の管理者として業務に精励された。

また、豊富な経験と強い責任感をもって、積極的に人材の育成・指導に努めるなど、その功績は誠に顕著であり、他の職員の模範である。

多額寄附者

森田ヤエコ氏 (大嶺町)

社会福祉向上のために美祿市に300万円を寄附された。

コミュニティ助成事業で整備しました。



秋芳八代振興会が、イベント等で活躍する「スクリーン」「プロジェクター」「マイク・ワイヤレスマイク」「CDカセットデッキ付アンプ」「スピーカーセット」「パソコン」「液晶テレビ」を整備しました。

この物品は、コミュニティの健全な発展と宝くじの普及を目的として、財団法人自治総合センターの助成を受けて整備しました。



問合せ先 市秋芳総合支所総務課 (☎0837@1912)

病院だより

24

健康チエック 急性肺動脈血栓塞栓症について

美祿市立病院
内科部長

李 博文



はじめに

急性肺動脈血栓塞栓症は、急死を来たすことのある心臓病の一つです。

病気の成り立ち

通常、血液は血管の中で血栓（血の塊）を作ることはありません。しかし、幾つかの条件が揃うと血液を固まらせようとする仕組み（凝固と言います）が働き始め、血栓が出来ます。出来た血栓が血流に乗って移動し、血管を塞ぐことがあります。その結果、血流が途絶えた臓器毎に特有の症状が出てきます。

性腫瘍が出来てしまっていて、その一部分症状として肺動脈血栓塞栓症が発症することがあります。

症状

最も重篤な症状は、自動車の中などで長く窮屈な姿勢で座っていた・寝ていた後、歩き始めて急に意識を失って倒れること（失神）です。時に、そのまま亡くなることもあります。

幸いにして意識が回復した後は、息苦しさ・胸の痛み・咳・痰（血痰）といった一見呼吸器系の症状が主になります。このため、肺炎を疑われて医療機関を受診されることも非常に多いと思われれます。

一方、軽症から中等症の方では、体がしんどくて動けない・何となく顔色が悪く息苦しいなど漠然とした症状のこともあります。結果として、受診の遅れから再発を招き重症化することがあります。ですから、それまで元気であつ

た方が、熱もなく風邪のような症状もなかったのに、ある時に急に息苦しさを感じるようになった時は、一度は急性肺動脈血栓塞栓症を疑って医療機関に受診して下さいと存じます。

診断・治療

医療機関では緊急に造影CT検査・心血管エコー検査などを行います。詰まった血栓が大きいのか、血栓が出来た場所は何処なのか、肺に飛んで来る血栓がまだあるのかを調べます。大きい場合は、心臓血管外科の先生にお願いして緊急手術で取り除いていただきます。中くらいまでであれば、カテーテルで吸い取る・お薬で溶かすという方法を探ります。

並行して、血液を固まりにくくする薬を使用して再発を防ぎます。お薬だけでは、再発が防げない時はフィルター（小さな罫）を静脈内に留置します。但し、血栓の大きさを

に関係なく手術が避けられない時もあります。

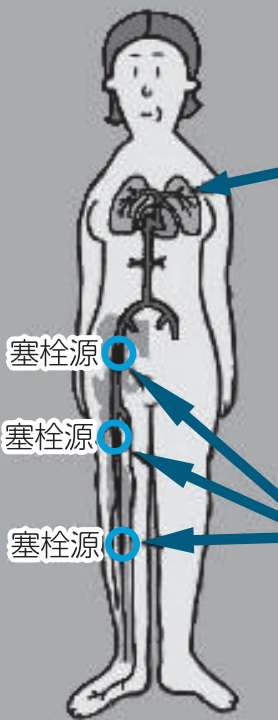
予防的取り組み

血栓が出来た原因は個人々々により異なります。一度肺動脈血栓塞栓症を発症した方は、抗凝固療法（血栓予防のためのお薬による治療）をどのように行うかを含め先生と良く相談されることが極めて大切です。

勿論、喫煙している方は禁煙し、肥満のある方は減量に努める必要があります。生活習慣病のある方はしっかりと状態を良くすることが大切です。

また、急性肺動脈血栓塞栓症は旅行者血栓症・ロングフライト症候群と表現される一面があります。自動車で長時間移動する時には、水分摂取に努め2時間毎くらいに休憩し、一旦外に出て運動することが大切です。どうしても車でできない時は、直接ふくらはぎを揉む、つま先挙げ・踵の上げ下ろしを繰り返すなどして下さい。ふくらはぎの筋肉を動かし、静脈の血流が滞らないようにして血栓が出来にくい状態にしておくことが予防の第一歩と考えられます。

肺動脈血栓塞栓症



国立循環器病センターホームページより許可を得て一部改変し転載

問合せ先 美祿市立病院

(080) 777-1700